

## 第1回 横浜市芸能センター第2期指定管理者審査委員会 議事録

- 1 日 時 平成22年6月1日(火) 午後1時30分～午後2時45分
- 2 場 所 横浜関内ビル3階 第一分室
- 3 出席者 上杉 幸雄 委員、岸川 善光 委員、西田 由紀子 委員 (欠席者 米屋 尚子 委員)
- 4 傍聴者 0名
- 5 議事内容

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長の選任</li> <li>2 横浜市芸能センター 指定管理者の選定要項等の検討</li> </ol>
委員意見等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長の選出 議事に先立ち、「横浜市芸能センター指定管理者審査委員会の組織及び運営に関する要綱」第4条に基づき、委員の互選により岸川委員を委員長に選任した。</li> <li>2 定足数の確認 委員数4名のうち3名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</li> <li>3 委員会の公開・非公開について 【審議結果】 ・公表前の選定要項等の検討を行うことから、会議は非公開とした。</li> <li>4 選定要項等の検討 【事務局説明】 ・選定要項等について、事務局から一括して説明。  【委員意見】 ◆「選定要項」について ・横浜市芸能センターにおける大衆芸能の範囲について、音楽、演劇、舞踊、古典芸能についても対象とするのか。 →施設のつくりの面から芸能ホールにおいては現状として対象としにくいジャンルもあるが、小ホール(のげシャール)においては演劇を中心に挑戦的な取り組みが行われており、上記にあげたジャンルについて今後も対象としていく。  ◆「業務の基準」について ・戦略的で安定的な事業実施と貸館の両方を行い、バランスのとれた運営ができる「総合プロデュース力」についての文言を一言いれられないか。 →文言を検討し、入れる。  ・利用者のアンケートや顧客満足度の結果などをきちんと分析し、施設の評価に反映していくことが重要である。  ◆「提案課題」について ・配点についてだが、業務の基本方針から文化事業に関する提案に配分を少し移してはどうか。施設の業務の根幹である文化事業を重視したい。 →業務の基本方針から文化事業に関する提案に5点分、配分を移す。  ◆その他 ・横浜市芸能センターだけでなく、他の専門館にも共通することだと思っただが、高度な芸術性を担保しつつ市民協働の事業を行うことについて、今後どのように積極的に展開が図れるのかが、これからの横浜においての施設、そして事業の大事な観点だと思っただが。  5 その他 ・第2回審査委員会は7月中旬、第3回審査委員会は8月下旬に実施する。</li> </ol>
審議結果	選定要項等は、審査委員会での各委員からの意見をふまえ修正し、委員長と調整の後決定とする。